

明専スクールでの学び

工学府工学専攻M2 真野 航太



明専スクール参加のきっかけ

私は、学部1年時と2年時は明専寮で、学部3年時と4年時は国際研修館にて生活をしていました。その中で、「技術に堪能なる士君子」として第一線で活躍されている九州工大の諸先輩方からの薫陶を賜る機会が多くあり、将来は先輩方と同じようになりたいという思いがありました。そのような思いを抱いていたところ、学科事務室の就職担当の方から明専スクールへの参加を勧められ就職していち早く自身「技術に堪能なる士君子」となるにはこの機会を逃してはならないと考え二つ返事で参加しました。本稿では、明専スクールを通して学んだこと、感じたこと

を伝えたいと思います。

講義

非同期型講義として「明専×九州工大建学の歴史」、「海外事業を含めた企業活動事例」、「企業における知的財産」の三つの講義を受講しました。特に印象に残ったのは「チャンスを掴む努力を怠らない」という講師の方からのメッセージです。自身グローバルに活躍したいという思いがあるため、これから働く中で何事にも好奇心を持って取り組み、自分からチャンスを掴むように努める決意をしました。同期型講義として「企業とは」を受講しました。企業とはどのようなものであるかを、社会で活躍されている講師の方から直接レクチャーしていただくことで、企業で働くことをイメージすることができるようになりました。

グループ討議

答えの無い抽象的な問いに対してグループで討議し、その成果を発表

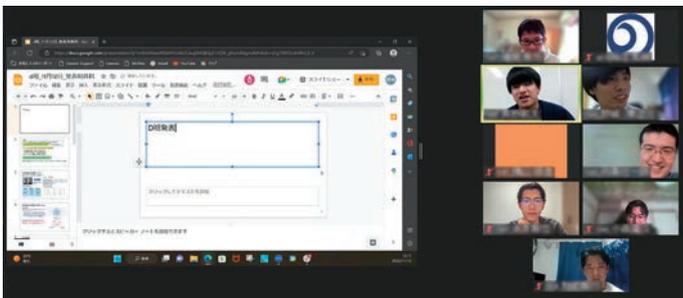
しました。当初はオンラインでの討議であることや、明確な答えの無い問いであることから意見を出すことができず討議の難しさを痛感しました。そのような中で、「まずはゴールを決めて共有する」というアドバイスをいただき、そこから何をすべきかを洗い出すことで、全員で活発に意見を出し、議論を深め、チームで一致団結して取り組むことができました。本番では惜しくも優秀賞は逃しましたが、この経験を通して学んだことの価値は非常に大きく、人生の糧となると確信しています。

最後に

これまでの大学での講義では学ぶことのできなかつた、社会に出てどのように行動していくべきかを学ぶことができ、就職するにあたって企業人として幸先の良いスタートを切ることができた機会だったと、明専スクールを修了して感じています。私自身も諸先輩方のように「技術に堪能なる士君子」として広く社会に貢献することができるように進進してまいります。

末筆ながら、このような素晴らしい機会を設けてくださった講師の諸先輩方、明専会事務局の皆様にご心より御礼申し上げます。

(セントラル硝子株 就職予定)



グループ討議の様子
活発な討議の真っただ中！



オンライン懇親会！